

とうきょう森づくり貢献認証制度

(二酸化炭素吸収固定量評価)



二酸化炭素オフセット認証制度

様式記入例

東京都知事 様

申請者 住所 東京都あきる野市あきる野〇丁目〇番地
氏名 森林 太郎 印

「二酸化炭素オフセット認証制度」

エントリーシート

二酸化炭素オフセット認証制度による森林整備の支援を受けたいので、二酸化炭素オフセット認証制度要領第3条第1項の規定により、下記のとおり提出します。

記

1 森林整備を必要とする森林の情報

森 林 の 所 在 地	東京都あきる野市あきる野〇丁目〇番地		
林 小 班 名	1林班あ小班、2林班い小班		
対 象 面 積	12ha、15ha		
計 画 す る 施 業	間伐		
計 画 期 間	5年		
森林整備資金所要額の内訳	提供資金： 円	自己資金： 円	補助金： 円
J-VERへの移行希望の有無	有 無		

2 連絡先

担当者	森林 太郎
電 話	042-〇〇〇-〇〇〇〇
F A X	042-〇〇〇-〇〇〇〇
e-mail	〇〇〇@〇〇.ne.jp

(様式2-2)

平成 23 年 5 月 1 日

東京都知事

様

申請者 住所 東京都新宿区〇〇町〇-〇

企業等名称 森林整備株式会社

代表者名 山林 太郎 印

「二酸化炭素オフセット認証制度」

森林整備協賛申込書

二酸化炭素オフセット認証制度による森林整備支援を実施したいので、二酸化炭素オフセット認証制度実施要領第3条第2項の規定により、下記のとおり提出します。

記

1 森林整備支援内容

①希望する森林面積	<input type="checkbox"/> 10ha以上～20ha未満 <input checked="" type="checkbox"/> 20ha以上～30ha未満 <input type="checkbox"/> 30ha以上
②希望する森林の場所 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 具体的な対象市町村(<u>あきる野市</u>) <input type="checkbox"/> アクセスが容易な場所を希望 <input type="checkbox"/> とくになし
③資金拠出予定額	円
その他記事欄	

2 連絡先

担当者	森林整備株式会社 森林整備課 山谷二郎
電話	03-〇〇〇〇-〇〇〇〇
FAX	03-〇〇〇〇-〇〇〇〇
e-mail	〇〇〇@〇〇.co.jp

(参考様式2-1)

二酸化炭素オフセット認証制度協定書

企業等 (以下「甲」という。) と 森林所有者等 (以下「乙」という。) とは、乙が実施する森林整備活動について、次のとおり協定を締結する。

(森林整備の実施)

第1条 乙は、○の所有する次に掲げる森林及び土地について、甲と乙とが協議して作成する森林整備実施計画書 (以下「実施計画」という。) に基づき森林整備活動を実施するものとし、甲はその資金として第2条に定める資金を提供する。

森林及び土地の所在地	地目	面積(h a)	備考
あきる野市あきる野○-○-○	間伐	270,000m ²	

(資金提供額)

第2条 甲は、実施計画に基づき乙が行なう森林整備活動に対して、金 円の範囲内で資金を提供する。

(活動の実施)

第3条 乙は、実施計画に基づき森林整備活動を行なおうとするときは、甲に対して、<甲乙間で定める期間ごと＝例えば、四半期ごと、1年ごとなど>実施しようとする「林小班又は地番」ごとの整備内容及び費用の内訳 (自己の資金と甲から提供を受けた資金の内訳を含む。以下同じ。) を書面で示し、あらかじめ甲の承認を得るものとする。

2 乙は、実施計画に基づく森林整備活動を林業事業体に委託して実施することができる。

(資金の交付及び精算等)

第4条 甲は、前条第1項により承認した乙の森林整備に係る資金について、乙の請求に基づき<前払い又は確定払い>で支払うものとする。

2 乙は、前項により甲から提供を受けた資金を適正に管理しなければならない。

3 乙は、第1項に規定する期間経過後は、甲に対して速やかに当該期間中の森林整備の実施状況及び森林整備に要した費用についての精算報告を行う。この場合において、当該資金に剰余額が生じた場合は甲に返還するものとする。ただし、甲乙の協議により、当該剰余金を実施計画のうち今後実施する森林整備活動の資金の一部として繰り越すことができる。

(立木の所有権)

第5条 第1条に定める土地内の立木の所有権は、甲の資金により植栽した立木も含め乙

が有するものとする。ただし、甲の資金により乙が行う森林整備活動に伴って発生した伐採木の利用は、甲乙協議の上決定する。

(協定期間)

第6条 協定期間は、平成 23 年 6 月 1 日から平成 28 年 5 月 31 日までとする。
ただし、甲、乙から期間を延長したい旨の申し出があった場合は、甲乙協議の上、延長することができるものとする。

(吸収量の認証)

第7条 本制度により認証される二酸化炭素吸収量は、資金の支出割合に応じて案文するものとする。

(J-V E R への移行)

第8条 将来的に J-V E R に移行する場合、甲、乙は自己資金の割合分についてのみクレジットを発生させることができる。

(吸収量のオフセット利用)

第9条 甲は、森林整備の実施によって授与された認証書に記されている二酸化炭素吸収量を、自らが排出した二酸化炭素の排出量に対するオフセットに利用することができる。

(信義誠実の尊重)

第10条 甲、乙は、相互に協力し、誠実にこの協定内容を履行するものとする。

(その他の事項)

第11条 この協定の履行に必要な事項であって、この協定に定めのないもの及び協定の事項に疑義が生じたときは、甲乙協議の上定めるものとする。

この協定締結の証として、この協定書を2通作成して、当事者署名の上、各自その1通を保有する。

平成 23 年 5 月 1 日

甲 (企業等)

森林整備株式会社

乙 (森林所有者等)

森林 太郎

(様式 2 - 5)

Ver 1.0 (初回提出時には 1.0 と記入)

「二酸化炭素オフセット認証制度」
森林整備実施計画書

森林整備実施者	森林 太郎	印
---------	-------	---

提出日 平成 23 年 5 月 1 日
受理日 年 月 日
最終版提出日 年 月 日

A:参加者情報

森林整備実施者			
実施者名(フリガナ)	森林 太郎 (シンリン タロウ)		
住所	東京都あきる野市あきる野〇丁目〇番地		
代表者氏名		担当者氏名	
担当者所属		担当者役職	
担当者 E-mail	〇〇〇@〇〇co.jp	担当者電話番号	042-〇〇〇〇-〇〇〇〇
森林整備での役割	森林整備実施者		
森林整備協賛者			
協賛者名(フリガナ)	森林整備株式会社(シンリンセイビカブシキガイシャ)		
住所	東京都新宿区〇〇町〇-〇		
代表者氏名	山林 太郎	担当者氏名	山谷 二郎
担当者所属	森林整備課	担当者役職	森林整備課長
担当者 E-mail	〇〇〇@〇〇.co.jp	担当者電話番号	03-〇〇〇-〇〇〇〇
森林整備での役割	森林整備協賛者		
森林整備参加者 ※1,2			
事業者名(フリガナ)	あきる野森林組合(アキルノシンリンクミアイ)		
住所	東京都あきる野市あきる野〇丁目〇番地		
代表者氏名	組合 太郎	担当者氏名	杉 次郎
担当者所属	業務課	担当者役職	業務課長
担当者 E-mail	〇〇〇@〇〇.ne.jp	担当者電話番号	042-〇〇〇-〇〇〇〇
森林整備での役割	森林整備事業者		
ダブルカウントの防止措置を講ずる事業者	森林整備株式会社		
公的な報告・公表制度	TOKYO FOREST ACTION ホームページに掲載		
自主的な報告・公表対象	自社ホームページに掲載		

※1:森林整備参加者とは、森林整備実施者・森林整備協賛者以外に当該森林整備の実施に携わるすべての者を指す。

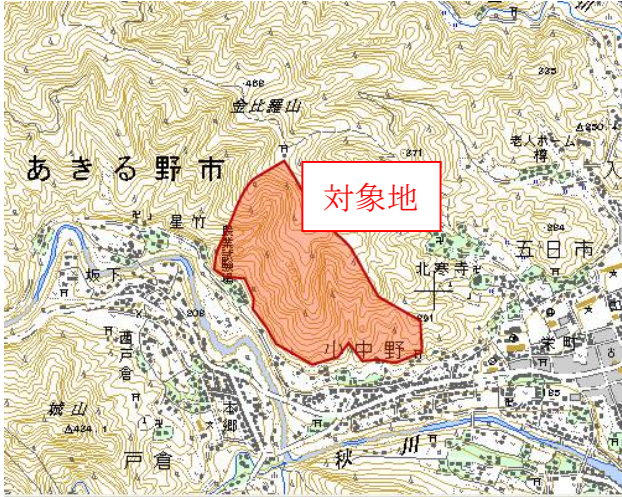
※2:森林整備参加者が複数いる場合には、それぞれの参加者の役割及び関係の概要を説明した資料を添付すること。

B: 森林整備活動の概要①

	項目																			
B.1 森林整備 活動	<p>B.1.1 森林整備の目的及び内容</p> <p>【目的】</p> <p>【内容】</p> <p style="color: red;">(本森林整備の目的、及び本森林整備においてどのような森林管理・施業を行うかについて記述する。)</p>																			
	<p>B.1.2 森林整備実施前の状況</p> <p>【森林の現況(森林タイプ(人工林、天然林の区別等)及び樹種別の面積が含まれていること)】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年齢級</th> <th colspan="2">人工林(面積 ha)</th> <th>天然林(面積 ha)</th> </tr> <tr> <th>スギ</th> <th>ヒノキ</th> <th>広葉樹</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>12</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td>15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12</td> <td>15</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="color: red;">(森林の現況、森林タイプ別、樹種別、年齢級の面積と蓄積等について情報を表などにまとめ説明する。また間伐対象林についても上記と同様の表と文章を作成する。なお、説明には数値を用い、具体的に説明する。)</p>	年齢級	人工林(面積 ha)		天然林(面積 ha)	スギ	ヒノキ	広葉樹	4	12			5		15		計	12	15	
	年齢級		人工林(面積 ha)		天然林(面積 ha)															
スギ		ヒノキ	広葉樹																	
4	12																			
5		15																		
計	12	15																		
<p>B.1.3 排出削減・吸収の達成手段</p> <p><R001 又は R002 の場合></p> <p>【間伐間隔】</p> <p>【定量間伐か、定性間伐か】</p> <p>【間伐率】</p> <p>【その他の削減・吸収達成手段】</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px; color: red;"> <p>(対象林において、施業計画に基づいた施業の方針について間伐実施間隔、植栽樹種、定量/定性、間伐率等の内容を数値を用いて具体的に説明する。)</p> </div>																				

B.2 採用技術	森林整備で使用する設備・機器等				
	(森林整備で使用する機器名称、機器メーカー名、型番、機器容量、法定耐用年数、導入年月、用途等について記載すること。(モニタリングに用いた機器は、最新のものに限らず全て記載すること))				
	機器名	メーカー名	耐用年数	導入時期	備考
	トウルーパールス 360	LaserTechnology	5年	2009年	樹高測定器
	ポケットコンパス	牛方商会	5年	2007年	面積測量機
	測量テープ	Myzox	5年	2008年	距離測定ロープ 50m
直径割付巻尺	ヤマヨ測定器	5年	2008年	胸高直径測定器	

B.3 森林整備 実施場所	実施事業所名	あきる野森林組合
	所在地	(森林整備実施場所が複数ある場合は、全ての住所を表形式等で記述する。) 東京都あきる野市あきる野〇〇〇〇-〇
	概要	(森林整備対象地の位置図、森林整備対象地全体の地図等を用いて、森林整備実施場所について分かりやすく説明する。その他、別紙「森林整備申請方法について」に記載する資料を適宜添付する。)



B: 森林整備活動の概要②

B.4 森林整備期間		23年6月1日～27年5月31日（5年0ヶ月）					
B.5 想定吸収量	年度	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	合計
	t-CO2	326.78	325.68	324.16	284.80	282.83	1544.3
B.6 補助金	受給の有無 (いずれかに○)	受給している / 申請中 / 検討中 / 受給しない					
	補助事業名称	東京都造林実施事業					
	補助金額 (申請額含む)	60,000,000 円					
	補助対象年月日	2009年4月1日～2012年3月31日					
	補助金を受給している ことを証明する書類	(施業履歴及び林齢樹種ごとの実測面積の証跡として使用する補助金受給事業については、資料を必ず添付すること)					
B.7 他制度への 申請 ※3	申請の有無 (いずれかに○)	有 / 無					
	制度名 (有の場合のみ)	東京都 森づくり制度					
備考	<p>①森林整備の吸収量や森林整備の実施に影響を与えるる現在もしくは将来的なリスク要因を特定する</p> <p>②各リスク要因に対する影響の軽減措置を記述する (リスクの例については、「記入要領」を必ず参照のこと)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>リスク要因例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林火災、気象災害、病中害、獣害等森林の存続に影響する事項 ・ 林齢が森林施業計画記載のものと大きく異なる場合など、森林施業計画や、モニタリング計画書記載内容と現地時の森林状況が乖離する可能性の高い事項 ・ その他吸収量に影響を与える事項 </div>						

C:方法論の適用

C.1 J-VER 制度 に基づく ポジティブ リストの 適格性基準 との整合性	C.1.1 ポジティブ リストの番号	No. R. <u>001 ver. 3.0</u>						
	条 件	説 明 ※1						
	C.1.2 条件1	(森林法の対象森林であることを森林施業計画書等で説明する。また当プロジェクトが森林法第五条又は第七条の2のいずれに該当するか明記する。)						
	C.1.3 条件2	(①森林経営活動が森林施業計画単位で申請されていることを森林施業計画(変更分を含む)の申請書、認定書により説明する。森林施業計画図・現況写真等により対象林分の位置を確認し、森林施業計画内に収まっていることを説明する。 ②適用される方法論が JRAM001 (旧 JAM 0002-1) の場合で森林施業計画の中から間伐対象地のみを抽出する場合は、プロジェクト参加者が所有又は管理する土地以外の土地も含め、当該森林施業計画内において、クレジット発行対象期間内に土地転用が計画されておらず、間伐対象地以外の土地で主伐が計画されている場合は当該主伐後に適切な更新がなされること、モニタリング・検証にあたって当該森林施業計画全体の伐採届・造林届を提出することなどの条件を満たしていることを説明する。 ③間伐方法及び間伐率、主伐後の植栽方法等が適切であることを説明する。また、市町村が定義する間伐のみが対象となっていることを説明する。 ④2008年4月1日以前の施業林文を対象とする場合は、森林施業計画及び過去の伐採届等で説明する。						
C.1.4 条件3	施業計画の認定番号 <u>0000</u> (平成〇年〇月〇日認定) (森林整備期間に係るすべての施業計画について認定番号を記載)							
C.2 適用 方法論	方法論番号	JRAM <u>001 ver. 3.0</u>						
	方法論名称	森林経営活動による CO ₂ 吸収量の増大						
C.3 適用する ガイドライン 等	C.3.1 ガイドライン 等への準拠	(オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドラインに準拠しない場合の説明)						
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">準拠の説明</th> <th style="width: 50%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 全く準拠しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 一部準拠しない</td> <td style="text-align: center;">(準拠しない部分について根拠を提示すること)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 全て準拠する</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 注) 全て準拠する場合は、説明は不要。	準拠の説明	説明	<input type="checkbox"/> 全く準拠しない		<input checked="" type="checkbox"/> 一部準拠しない	(準拠しない部分について根拠を提示すること)
準拠の説明	説明							
<input type="checkbox"/> 全く準拠しない								
<input checked="" type="checkbox"/> 一部準拠しない	(準拠しない部分について根拠を提示すること)							
<input type="checkbox"/> 全て準拠する								

	<p>C.3.2 ガイドライン 等が複数 ある場合 の選択</p>	<p>(オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドラインのモニタリングパターンを選択する場合)</p> <table border="1" data-bbox="550 338 1407 936"> <thead> <tr> <th>モニタリング パラメータ</th> <th>モニタリングパターン</th> <th>選択の理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">活動量</td> <td><input type="checkbox"/> 森林 GIS</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 実測</td> <td>植栽時及び間伐時に測量を行っているため</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">拡大係数</td> <td><input type="checkbox"/> 実測</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等</td> <td>京都議定書 3 条 3 及び 4 の下での LULUCF 活動の補足活動に関する報告書 3 を利用するため</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">収穫予想表</td> <td><input type="checkbox"/> システム収穫表 (LYCS 等)</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料 (行政機関の資料・学術論文等)</td> <td>文献名: 東京都農林水産部森林課 「〇〇〇表」 該当ページ: 〇 ~ 〇〇 ページ</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 選択理由の説明においては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所 の明示を行うこと。なお、説明に使用した資料は名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付 資料一覧に整理すること。</p>	モニタリング パラメータ	モニタリングパターン	選択の理由	活動量	<input type="checkbox"/> 森林 GIS		<input checked="" type="checkbox"/> 実測	植栽時及び間伐時に測量を行っているため	拡大係数	<input type="checkbox"/> 実測		<input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等	京都議定書 3 条 3 及び 4 の下での LULUCF 活動の補足活動に関する報告書 3 を利用するため	収穫予想表	<input type="checkbox"/> システム収穫表 (LYCS 等)		<input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料 (行政機関の資料・学術論文等)	文献名: 東京都農林水産部森林課 「〇〇〇表」 該当ページ: 〇 ~ 〇〇 ページ
モニタリング パラメータ	モニタリングパターン	選択の理由																		
活動量	<input type="checkbox"/> 森林 GIS																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 実測	植栽時及び間伐時に測量を行っているため																		
拡大係数	<input type="checkbox"/> 実測																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等	京都議定書 3 条 3 及び 4 の下での LULUCF 活動の補足活動に関する報告書 3 を利用するため																		
収穫予想表	<input type="checkbox"/> システム収穫表 (LYCS 等)																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料 (行政機関の資料・学術論文等)	文献名: 東京都農林水産部森林課 「〇〇〇表」 該当ページ: 〇 ~ 〇〇 ページ																		
<p>C.4 森林整備が 実施されな かった 場合の状態 (ベースライン シナリオ)</p>	<p>C.4.1 ベースライン シナリオ (BLS)の 特定</p>	<p>(森林整備が実施されなかった場合の状態(ベースラインシナリオ)の説明)</p> <p>記入例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間伐促進型: 森林を適切な状態に保つために必要な間伐が 2007 年度以降に実施されていない状態。 ・持続可能な森林経営促進型: 森林を適切な状態に保つために必要な間伐・主伐・植栽が 1990 年度以降に実施されていない状態。 ・森林活動: 植林前の土地利用 (例えば草地) の状態。 <p>(ベースラインシナリオ特定に使用したデータの信頼性・入手可能性)</p> <table border="1" data-bbox="550 1379 1396 1637"> <thead> <tr> <th>データの信頼 性・入手可能性</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 低い</td> <td>(ベースラインシナリオを特定する際に使用したデータは信頼度及び入手可能性が低いもの場合、特定したベースラインシナリオが適切であることの根拠を説明すること。)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 低くない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(森林施業計画通りに施業を実施しない可能性に関する情報)</p> <table border="1" data-bbox="550 1771 1396 1966"> <thead> <tr> <th>施業計画通りに 実施しない可能性</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 可能性がある</td> <td>(施業計画通りに実施されない可能性について記述すること。)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 可能性がない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	データの信頼 性・入手可能性	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 低い	(ベースラインシナリオを特定する際に使用したデータは信頼度及び入手可能性が低いもの場合、特定したベースラインシナリオが適切であることの根拠を説明すること。)	<input type="checkbox"/> 低くない		施業計画通りに 実施しない可能性	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がある	(施業計画通りに実施されない可能性について記述すること。)	<input type="checkbox"/> 可能性がない							
データの信頼 性・入手可能性	説明																			
<input checked="" type="checkbox"/> 低い	(ベースラインシナリオを特定する際に使用したデータは信頼度及び入手可能性が低いもの場合、特定したベースラインシナリオが適切であることの根拠を説明すること。)																			
<input type="checkbox"/> 低くない																				
施業計画通りに 実施しない可能性	説明																			
<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がある	(施業計画通りに実施されない可能性について記述すること。)																			
<input type="checkbox"/> 可能性がない																				

		(森林整備の対象である森林が転用される可能性に関する情報)						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>転用の可能性</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/>可能性がある</td> <td>(対象である森林が転用される可能性について記述すること。)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>可能性がない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	転用の可能性	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がある	(対象である森林が転用される可能性について記述すること。)	<input type="checkbox"/> 可能性がない	
		転用の可能性	説明					
<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がある	(対象である森林が転用される可能性について記述すること。)							
<input type="checkbox"/> 可能性がない								
C.4.2 BLSに関連した温室効果ガス排出源・吸収源の特定		(温室効果ガス排出源・吸収源)						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>温室効果ガス排出源・吸収源</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森林整備で対象となる排出源・吸収源</td> <td>(方法論で指定されている排出源・吸収源から記述すること。) 例：地上部バイオマス、地下部バイオマス</td> </tr> <tr> <td>上記に含まれない森林整備固有の排出源・吸収源</td> <td>(地上部・地下部バイオマスに該当しない排出源・吸収源を追加する必要がある場合には、その内容を具体的に記入すること。)</td> </tr> </tbody> </table>	温室効果ガス排出源・吸収源	説明	森林整備で対象となる排出源・吸収源	(方法論で指定されている排出源・吸収源から記述すること。) 例：地上部バイオマス、地下部バイオマス	上記に含まれない森林整備固有の排出源・吸収源	(地上部・地下部バイオマスに該当しない排出源・吸収源を追加する必要がある場合には、その内容を具体的に記入すること。)
		温室効果ガス排出源・吸収源	説明					
森林整備で対象となる排出源・吸収源	(方法論で指定されている排出源・吸収源から記述すること。) 例：地上部バイオマス、地下部バイオマス							
上記に含まれない森林整備固有の排出源・吸収源	(地上部・地下部バイオマスに該当しない排出源・吸収源を追加する必要がある場合には、その内容を具体的に記入すること。)							
リーケージに関しては、以下のリストから該当するものがあればボックスにチェックを入れること。また、チェックしたリーケージは、モニタリングプランにおいて定量化すること。								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>リーケージの種類</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/>本森林整備実施による、森林整備対象地外での吸収量を減少させる活動の増加</td> <td>(該当する活動が想定される場合は、具体的な内容とそのモニタリング方法を記入)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>本森林整備実施による、森林整備対象地外における排出量を増加させる活動の増加</td> <td>(該当する活動が想定される場合は、具体的な内容とそのモニタリング方法を記入)</td> </tr> </tbody> </table>	リーケージの種類	説明	<input type="checkbox"/> 本森林整備実施による、森林整備対象地外での吸収量を減少させる活動の増加	(該当する活動が想定される場合は、具体的な内容とそのモニタリング方法を記入)	<input type="checkbox"/> 本森林整備実施による、森林整備対象地外における排出量を増加させる活動の増加	(該当する活動が想定される場合は、具体的な内容とそのモニタリング方法を記入)
リーケージの種類	説明							
<input type="checkbox"/> 本森林整備実施による、森林整備対象地外での吸収量を減少させる活動の増加	(該当する活動が想定される場合は、具体的な内容とそのモニタリング方法を記入)							
<input type="checkbox"/> 本森林整備実施による、森林整備対象地外における排出量を増加させる活動の増加	(該当する活動が想定される場合は、具体的な内容とそのモニタリング方法を記入)							
		(温室効果ガス排出源・吸収源を特定するために使用した追加的な基準)						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>温室効果ガス排出源・吸収源特定のための追加的な基準</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/>使用</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/>使用しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	温室効果ガス排出源・吸収源特定のための追加的な基準	説明	<input type="checkbox"/> 使用		<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない	
温室効果ガス排出源・吸収源特定のための追加的な基準	説明							
<input type="checkbox"/> 使用								
<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない								

C.5 排出量・ 吸収量の 定量化	C.5.1 不確かな データの 使用	(吸収量の定量化における不確かなデータの使用)						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>不確かなデータの 使用</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/>使用する</td> <td>(不確かなデータを使用することによる吸収量の過大評価がないことを説明すること。)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>使用しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	不確かなデータの 使用	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	(不確かなデータを使用することによる吸収量の過大評価がないことを説明すること。)	<input type="checkbox"/> 使用しない	
不確かなデータの 使用	説明							
<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	(不確かなデータを使用することによる吸収量の過大評価がないことを説明すること。)							
<input type="checkbox"/> 使用しない								
	C.5.2 モニタリング 対象とならな い排出源・ 吸収源	(モニタリングプランを作成する上で、モニタリング報告対象とならない森林整備固有の排出源・吸収源が存在する)						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>モニタリング報告対象となら ない森林整備固有の排出 源・吸収源</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/>存在する</td> <td>(モニタリング対象とならない排出源・吸収源からの排出量・吸収量を推計すること。)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>存在しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	モニタリング報告対象となら ない森林整備固有の排出 源・吸収源	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 存在する	(モニタリング対象とならない排出源・吸収源からの排出量・吸収量を推計すること。)	<input type="checkbox"/> 存在しない	
モニタリング報告対象となら ない森林整備固有の排出 源・吸収源	説明							
<input checked="" type="checkbox"/> 存在する	(モニタリング対象とならない排出源・吸収源からの排出量・吸収量を推計すること。)							
<input type="checkbox"/> 存在しない								
C.6 モニタリング プロットの 設置		<p>(モニタリングプロットの設定方法に関する記述)</p> <p>モニタリング方法ガイドライン（森林管理プロジェクト用）のII-9頁以降に掲載されているモニタリングプロット（地位を特定するためのプロット設置箇所）の設定方法を参考に、プロジェクト対象地の実情を考慮した具体のモニタリングプロットの設置方法について記述すること。</p> <p>(モニタリングプロットに対応した資料の準備)</p> <p>モニタリングの対象地（各小班）を網羅した全体地図（例えば、等高線の入った森林計画図）に、モニタリングプロットを○印で明記したものを準備する。なお、林小班に複数のモニタリングポイントを設置する場合、モニタリングポイント毎の面積がわかるような境界線を記入すること（面積はモニタリング時に実測するでおおよその境界線でよい）。</p>						
C.7 備考								

D:その他

(想定される関連法令等については、別紙「オフセット・クレジット(J-VER)制度における手続きについて」の方法論ごとの記載を参照のこと)
 なお、ここに記載した法令等は、あくまでも想定される主な法令であり、他にも関連する法令等の有無について確認すること。

D.1 関連する許認可 及び関連法令

		該当しない	該当する
1	森林・林業基本法	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 第 9 条森林所有者としての責務 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:)
2	森林法	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 第 5 条地域森林計画 <input type="checkbox"/> 第 11 条森林施業計画 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:)
3	森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法(間伐等促進法)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	種の保存法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	鳥獣保護法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	騒音規制法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	景観法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	環境影響評価法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

D.2 ステークホルダー (森林所有者、森林管理者、森林管理費用負担者等)のコメント

【森林整備対象森林の所有者が、森林整備代表事業者等に含まれない場合】森林整備代表事業者等と森林所有者の間で永続性の担保について確認・合意したことの証拠
 * 森林整備対象森林について、所有者以外に権利を有する者(入会権者等)が存在する場合も、永続性担保について確認・合意したことの証拠が必要となる。

【間伐促進型森林整備で、森林整備対象地に含まれない森林所有者がいる場合】間伐を実施しない森林所有者に対して、永続性を担保するために実施した説明会等を実施したことの証拠
 * 森林整備対象地に含まれない森林について、所有者以外に権利を有する者(入会権者等)が存在する場合も、永続性担保に必要な説明会等の証拠が必要となる。

D.3 その他特記事項

(プロジェクト活動を行う森林における生物多様性保全のための取組等
について自由に記述することができる。)

吸収量算定表

整備対象箇所名 (林班・準林班・小班・枝番 あるいは地番など)	樹種	整備面積	計画時林齢	年間成長量	拡大係数	容積密度	炭素含有率	CO2換算係数	(地上部+地下部)係数	吸収量	吸収量合計
1林班あ小班	スギ	12	18	12.92	1.57	0.314	0.5	3.67	1.25	175.16	1544.3
1林班あ小班	スギ	12	19	12.89	1.57	0.314	0.5	3.67	1.25	174.74	
1林班あ小班	スギ	12	20	12.84	1.57	0.314	0.5	3.67	1.25	174.02	
1林班あ小班	スギ	12	21	12.76	1.23	0.314	0.5	3.67	1.25	135.56	
1林班あ小班	スギ	12	22	12.67	1.23	0.314	0.5	3.67	1.25	134.61	
2林班い小班	ヒノキ	15	25	8.67	1.24	0.407	0.5	3.67	1.26	151.63	
2林班い小班	ヒノキ	15	26	8.63	1.24	0.407	0.5	3.67	1.26	150.95	
2林班い小班	ヒノキ	15	27	8.59	1.24	0.407	0.5	3.67	1.26	150.15	
2林班い小班	ヒノキ	15	28	8.53	1.24	0.407	0.5	3.67	1.26	149.24	
2林班い小班	ヒノキ	15	29	8.48	1.24	0.407	0.5	3.67	1.26	148.22	

吸収量の用途	オフセット	クレジット化	未定	その他
--------	-------	--------	----	-----

様式に記入するのは、「吸収量算定表」と「吸収量の用途」となります。

(以下、参考)

吸収量は以下の式から求められます。

吸収量 (t) = 整備面積 (ha) × 年間成長量 (m³/ha) × 拡大係数 × 容積密度 (t/m³) × 炭素含有率 × CO₂換算係数 × (地上部+地下部) 係数
 上の表の例だと、1林班あ小班のスギの林齢が18年生のときは、

$$\text{吸収量} = 12\text{ha} \times 12.92\text{m}^3 \times 1.57 \times 0.314\text{t/m}^3 \times 0.5 \times 3.67 \times 1.25 = 175.16\text{t}$$

整備面積

年間成長量
樹種と林齢によって自動的に決まる値です。

拡大係数
樹種と林齢によって自動的に決まる値です。

容積密度
樹種によって決まる値です。

炭素含有率
決まっている値です。

CO₂換算係数
決まっている値です。

(地上部+地下部)係数
樹種によって決まる値です。

(様式 2-7 森林整備実施報告書)

Ver 1.0

「二酸化炭素オフセット認証制度」
森林整備実施報告書

森林整備実施者	森林 太郎	印
---------	-------	---

提出日 平成 24 年 2 月 1 日
受理日 年 月 日
最終版提出日 年 月 日

A:参加者情報

森林整備実施者			
実施者名(フリガナ)	森林太郎 (シンリン タロウ)		
住所	東京都あきる野市あきる野〇丁目〇番地		
代表者氏名		担当者氏名	
担当者所属		担当者役職	
担当者 E-mail	〇〇〇@〇〇ne.jp	担当者電話番号	042-〇〇〇〇-〇〇〇〇
森林整備での役割	森林整備実施者		
森林整備協賛者			
協賛者名(フリガナ)	森林整備株式会社 (シンリンセイビカブシキガイシャ)		
住所	東京都新宿区〇〇町〇-〇		
代表者氏名	山林 太郎	担当者氏名	山谷 二郎
担当者所属	森林整備課	担当者役職	森林整備課長
担当者 E-mail	〇〇〇@〇〇co.jp	担当者電話番号	03-〇〇〇〇-〇〇〇〇
森林整備での役割	森林整備協賛者		
森林整備参加者 ※1,2			
事業者名(フリガナ)	あきる野森林組合(アキルノシンリンクミアイ)		
住所	東京都あきる野市あきる野〇丁目〇番地		
代表者氏名	組合 太郎	担当者氏名	杉 太郎
担当者所属	業務課	担当者役職	業務課長
担当者 E-mail	〇〇〇@〇〇.ne.jp	担当者電話番号	042-〇〇〇〇-〇〇〇〇
森林整備での役割	森林整備事業者		

※1:その他森林整備参加者とは、森林整備実施者・森林整備協賛者以外に当該森林整備の実施に携わるすべての者を指す。たとえば、下記が参加者として想定される。

- ・ 温室効果ガス排出削減・吸収活動のとりまとめを行う者

※2:森林整備参加者が複数いる場合には、それぞれの参加者の役割及び関係の概要を説明した資料を添付すること。

B: 森林整備活動の概要①

項目									
B.1 森林整備 活動	<p>B.1.1 森林整備の概要</p> <p style="color: red;">(本森林整備の目的、及び本森林整備においてどのような森林管理・施業を行ったかについて記述する。)</p>								
	<p>B.1.2 森林整備の進捗状況</p> <p>(森林整備の進捗(間伐、主伐、植林等の施業の状況)について記述。特に申請書や森林施業計画と実施状況の間に乖離がある場合は、いつからどのような変更があり、その変更による森林整備の吸収量へどのような影響があるか(もしくはないこと)について記述。)</p>								
B.2 森林整備 実施場所概要	<p>概要</p> <p>(森林整備対象地の位置図、森林整備対象地全体の地図等を用いて、森林整備実施場所について分かりやすく説明する。その他、巻末に記載する資料を適宜添付する。)</p>								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">小班数</th> <th style="width: 25%;">吸収量</th> <th style="width: 25%;">面積</th> <th style="width: 25%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(施業した小班数を記入)</td> <td style="text-align: center;">〇〇tCO₂</td> <td style="text-align: center;">〇〇ha</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	小班数	吸収量	面積	備考	(施業した小班数を記入)	〇〇tCO ₂	〇〇ha	
	小班数	吸収量	面積	備考					
(施業した小班数を記入)	〇〇tCO ₂	〇〇ha							
B.3 その他	<p>(間伐型森林整備において森林整備に参加していない森林所有者の永続性や申請時点で予見できなかったリスク等について変更等あれば記述すること)</p>								

C:方法論の適用

C.1 J-VER 制度 に基づく ポジティブリ ストの番号	No. R. <u>001</u>	森林経営活動による CO ₂ 吸収量の増大	
C.2 適用 方法論	方法論番号	JRAM <u>001</u>	
	方法論名称	森林経営活動による CO ₂ 吸収量の増大	
C.3 方法論でモ ニタリングを 要求される パラメータ 概要	記号	内容	計測方法
	Area _{Forest}	間伐面積	コンパス測量に基づく実測
	地位級	対象森林の土地条件等の階層	バーテックスを用いた実測
	〇〇	〇〇の文献値	「京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書」の〇〇を使 用

様式に記入するのはこの吸収量算定表のみとなります。

吸収量算定表

整備対象箇所名 (林班・準林班・小班・枝番 あるいは地番など)	樹種	整備面積	計画時林齢	年間成長量	拡大係数	容積密度	炭素含有率	CO ₂ 換算係数	(地上部+地下部)係数	吸収量	吸収量合計
1林班あ小班	スギ	12	18	12.92	1.57	0.314	0.5	3.67	1.25	175.16	1544.3
1林班あ小班	スギ	12	19	12.89	1.57	0.314	0.5	3.67	1.25	174.74	
1林班あ小班	スギ	12	20	12.84	1.57	0.314	0.5	3.67	1.25	174.02	
1林班あ小班	スギ	12	21	12.76	1.23	0.314	0.5	3.67	1.25	135.56	
1林班あ小班	スギ	12	22	12.67	1.23	0.314	0.5	3.67	1.25	134.61	
2林班い小班	ヒノキ	15	25	8.67	1.24	0.407	0.5	3.67	1.26	151.63	
2林班い小班	ヒノキ	15	26	8.63	1.24	0.407	0.5	3.67	1.26	150.95	
2林班い小班	ヒノキ	15	27	8.59	1.24	0.407	0.5	3.67	1.26	150.15	
2林班い小班	ヒノキ	15	28	8.53	1.24	0.407	0.5	3.67	1.26	149.24	
2林班い小班	ヒノキ	15	29	8.48	1.24	0.407	0.5	3.67	1.26	148.22	

(以下、参考)

吸収量は以下の式から求められます。

吸収量 (t) = 整備面積 (ha) × 年間成長量 (m³/ha) × 拡大係数 × 容積密度 (t/m³) × 炭素含有率 × CO₂換算係数 × (地上部+地下部) 係数
 上の表の例だと、1林班あ小班のスギの林齢が18年生のときは、

$$\text{吸収量} = 12\text{ha} \times 12.92\text{m}^3 \times 1.57 \times 0.314\text{ t/m}^3 \times 0.5 \times 3.67 \times 1.25 = 175.16\text{t}$$

整備面積

年間成長量
樹種と林齢によって自動的に決まる値です。

拡大係数
樹種と林齢によって自動的に決まる値です。

容積密度
樹種によって決まる値です。

炭素含有率
決まっている値です。

CO₂換算係数
決まっている値です。

(地上部+地下部)係数
樹種によって決まる値です。

「二酸化炭素オフセット認証制度」

現地検証調査報告書

検証結果の概要について以下の通り報告いたします。

対象森林整備名		
森林 太郎		
現地検証機関		
当該森林整備における検証を行うにあたり、当該森林整備に関して一切の利害関係がないことを宣誓します。		
機関名	森林〇〇株式会社	印
担当部署名	〇〇部〇〇課	
責任者名	〇〇太郎	
責任者 E-mail	〇〇〇@〇〇.co.jp	
責任者電話番号	03-〇〇〇〇-〇〇〇〇	
審査員名	〇〇二郎	
機関要件への合致		
検証報告書発行日	平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日	
検証結果		
適用妥当性確認・ 検証ガイドライン	Ver. _____	

検証期間		○年○月○日～○年○月○日				
現地審査		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	期間	○年○月○日～○年○月○日		
		審査内容	(森林整備実施報告書及び付属資料の文章上での確認、関係者によるインタビュー、現地踏査等の説明)			
吸収量	年度	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)
	t-CO2	326.78	325.68	324.16	284.80	282.83
検証結果の要約		(森林整備実施報告書に記載された情報が、モニタリング、算定及び報告の基準である「実施ルール」及び「モニタリング・報告ガイドライン」に準拠して作成され、全ての重要な点において適正に表示されているかどうかを検証した結果の説明。)				

(様式 2 - 1 1)

平成 23 年 6 月 1 日

東京都知事 様

届出者 住所 東京都あきる野市あきる野〇丁目〇番地
氏名 森林 太郎 印

「二酸化炭素オフセット認証制度」

変更届出書

平成 23 年 5 月 1 日付けで提出した様式 2-2 の内容について、変更が生じたので、二酸化炭素オフセット認証制度実施要領第 3 条の規定により、別紙のとおり変更を届け出ます。